

チャレンジド・プログラムVol.1 修了式と成果発表会

神戸スイーツ・コンソーシアム

8名全員がプロの技術を習得・修了

社会福祉法人フロップ・ステーション(竹中ナミ理事長は12月7日、カフェフロインドリーブで、パティシエを目指すチャレンジド・プログラムVol.1「神戸スイーツコンソーシアム」の修了式と成果発表会を挙行、矢田立郎神戸市長をはじめ、兵庫県、神戸市、協賛企業関係者などが出席した。

修了式に先立ち、同法人理事長の竹中ナミ氏は次のように挨拶した。「6月から始まった神戸コンソーシアムの第1期修了生を今日、送り出すことに感激しています。人間には、色々な力が眠っています。それをそのまま眠らせていることほど、もったいないことはないと思っています。障害を抱えていても、その人の力を引き出して、社会に貢献できるようにサポートすることこそ、本当の福祉ではないかと考えています。」

神戸スイーツコンソーシアムは今後、二つの方向性を持って前進します。

一つは、修了生が身に付けた技術でパティシエとして、稼いでもらわなければなりません。そのためにも、一層お菓子作りに励みたいと思っています。協力していただいた皆様、本当にありがとうございます。修了生一人ひとりに修了証が手渡された後、修了生を代表して深草健治氏が「このプログラムで培った経験は、掛け替えのない財産です。この経験を活かして、私の話を聞いてくれたことが、何よりの励みになりました。」

今回の製作物は、100%の出来栄ではありませんが、要点を要領よくまとめている気がしていますので、よく見て、一つでも多く試食をして欲しいと思っています。

来年も皆さんの良き相談相手となり、東京や他の地区でも、応援を続けていきたくと思っています。

【八木淳司氏】



「修了生のみなさんとサポーター」

「修了生のみなさんとサポーター」



竹中ナミ氏



花房宏昌氏

れました。夢を実現するため真剣に努力することが、いかに大切かを教えてもらったような気がします。これは、八木講師の入念な準備と心のこもった指導の賜物だと思っています。このプログラムで習得された知識と技術を、今後の仕事の中で十分活かしてもらえれば幸せに感じます。そして、東京で行われるプログラムでも多くのチャレンジドがスイーツの世界で羽ばたいてもらえるように協力を続けたいと思っています。」

その後、講師の八木淳司氏が半年間の歩みと製作物の評価を述べた後、修了生が作ったスイーツを試食する成果発表会も行われた。

以下は、第1期修了生(順不同、敬称略)が次のように挨拶した。

「修了生のみなさんは、製粉工場という慣れない場所で、一人も欠けることなく、一日も休まず熱心に受講さ



修了生のみなさんとサポーター